

ごみ

守ってますか・・・？

ごみステーションの使い方

『電化製品はごみステーションに出したら処分してくれるだろう』
『うちが除雪しなくても誰かが除雪してくれるだろう』

ごみステーションの使い方、このように理解している人はいませんか？

ごみステーションはごみ捨て場ではありません

ある地区のごみステーションには、写真のとおり洗濯機やガスボンベなどが置いてあります。誰が出したか判りませんが、ずっとこの場所に放置されたままとなっています。このように、ごみステーションをごみ捨て場と勘違いしている方がいます。

ごみステーションにごみや資源物を入れるのは、原則収集日の朝です。

また10月よりごみ処理の有料化が開始されました。必ず指定袋を使用して収集日に出してください。指定袋でないもの、分別のされていないもの、汚れている資源物については一切収集しません。出した方がきちんと責任を持って処理を行ってください。

町のごみ収集では収集できないものがあります。それらの物は、ごみステーションに出しても、収集しませんので取扱店などへ処理依頼をしてください。

人間が生活していく上で、ごみは必ず発生してくるものですが、発生した以上はルールをきちんと守ってごみを出すのがその人の責任です。

収集しないもの

(取扱店へ処理を依頼してください)

テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン・パソコン・灯油タンク・プロパンガスボンベ・タイヤ・バッテリー・消火器・建設廃材・バイク・自動車



冬期間のごみステーションの利用について

冬季間、ごみステーションの前に雪があると、ごみ収集車が入ることができず、運行時間が遅れますので、ごみステーションの周辺は利用者の皆さんで除雪をお願いします。道路へ直接出すときは、道路除雪の支障とならないように出してください。

また、吹雪や大雪などの悪天候のときは、ごみ収集車の運行が遅れたり、運休することがありますので、ご理解願います。



ごみステーション前の雪は利用者で協力し合って除雪しましょう。



だいた
佐藤 乃汰ちゃん
平成 14年 8月 27日 生まれ
父～勝一さん
母～早苗さん
住所～北 3条 6丁目

父から

個性を持ってほしい。

母から

素直で元気に育ってほしい。



みつき
西東 舜記ちゃん
平成 14年 8月 31日 生まれ
父～勝昭さん
母～峰子さん
住所～北 4条 7丁目

両親から

いつも元気いっばいの笑顔と明るい性格で、お父さんやお母さんを楽しませてくれてありがとう。これからも明るく元気で、素直にのびのび育ってね。



**全道の学校に普及
オルガン**

オルガンはヨーロッパでは、教会用の楽器として発達し、主としてパイプオルガンを指していた。

日本では、16世紀後半にポルトガルやスペインの宣教師がもたらしたのが最初で、リードオルガンも含めた、総称として使われてきた。漢字は「風琴」をあてた。

北海道でも、キリスト教の教会やミッションスクールで使われ始め、やがて一般の学校や上級家庭でも使われるようになった。

昭和初期には、ほぼ全道の学校に普及し、音楽教育に貢献した。太平洋戦争中には一時欧米の文化が排斥されたことがあったが、オルガンは禁止されることなく使われた。

昔（昭和36年頃）浜頓別小学校でも音楽の時間にオルガンが使われていました。



▲郷土資料館に展示しているオルガン